

日時: 令和2年11月11日(水) 13:30~15:00

第20回都道府県議会議員研究交流大会

第4分科会 資料

「住民との関係強化」

【コーディネーター】

慶應義塾大学大学院教授 谷口 尚子 氏

【パネリスト】



岩手県議会議員 川村 伸浩 氏



富山県議会議員 永森 直人 氏

第20回都道府県議会議員研究交流大会

第4分科会 「住民との関係強化」

令和2年11月11日(水)

コーディネーター: 谷口尚子(慶應義塾大学)



1. 第4分科会の趣旨

- 分科会テーマ

「民意の的確な反映・住民参加の拡充が求められており、住民との関係強化に向けた具体的取組を踏まえ、住民代表機能強化の方法について考える。」

- コーディネーターによる問題提起
- パネリストによる事例発表
- 質疑応答

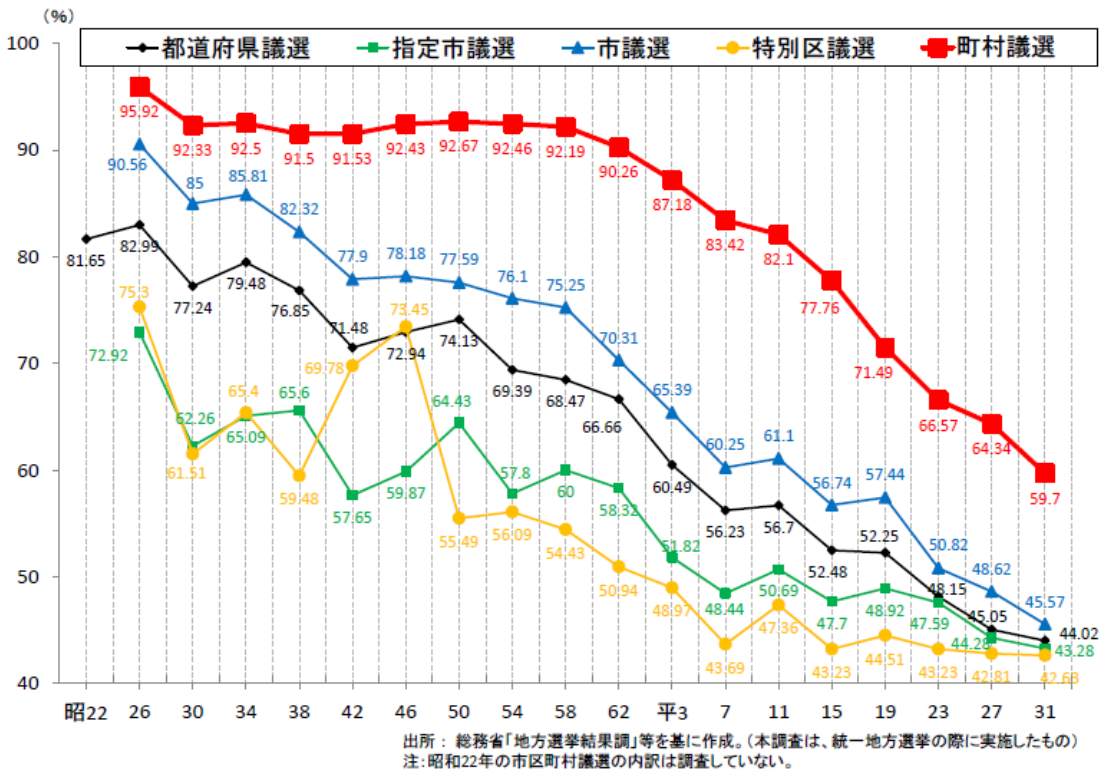
2. 地方議会の課題

- 総務省 平成26年度「地方議会に関する研究会」論点
 - I 人口減少社会に向かう地方議会
 - II 地域の実情に合った議会制度及び議会運営のあり方
 - III 地方議会の議員に求められる役割：代表性・専門性
 - IV 多様な住民が地方議会議員として参画するための方策
 - V 地方議会における政党・選挙制度のあり方
 - VI 住民参加の充実、住民の信頼確保を図るための方策
 - ・住民に対する説明責任、情報発信の拡充
 - ・住民参加（公聴会・報告会・委員会等の活用）
 - ・議会活動の評価のあり方

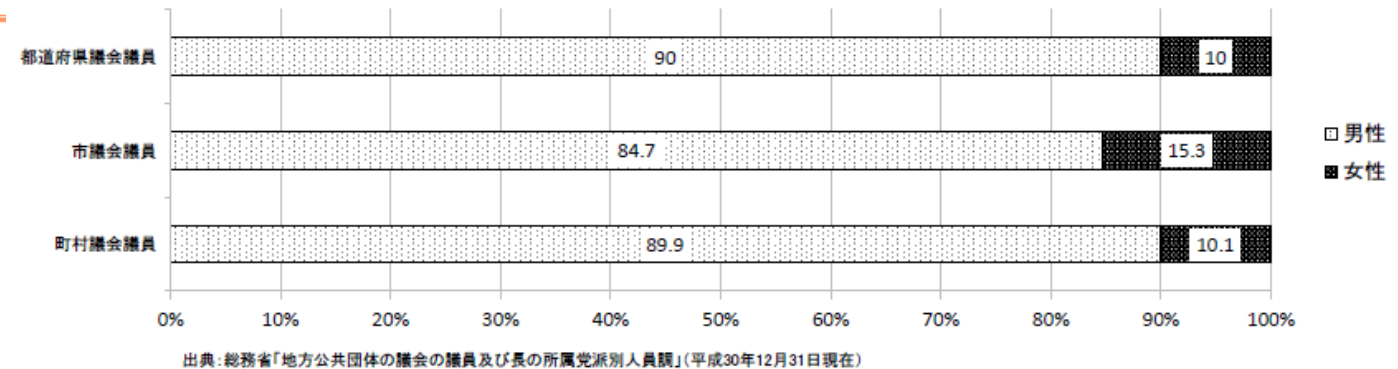
3. 住民の議会に対する「負」の意識

- 地方議会に対する無関心：低投票率、無投票
- 地方議会との距離感：代表性・多様性を感じない（総務省資料）

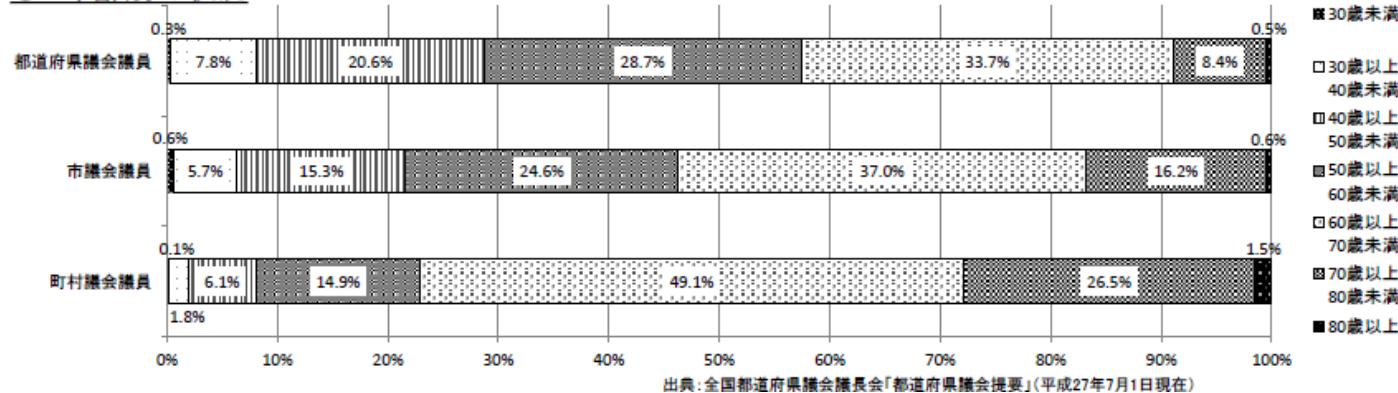
統一地方選挙における投票率の推移



男女の比率

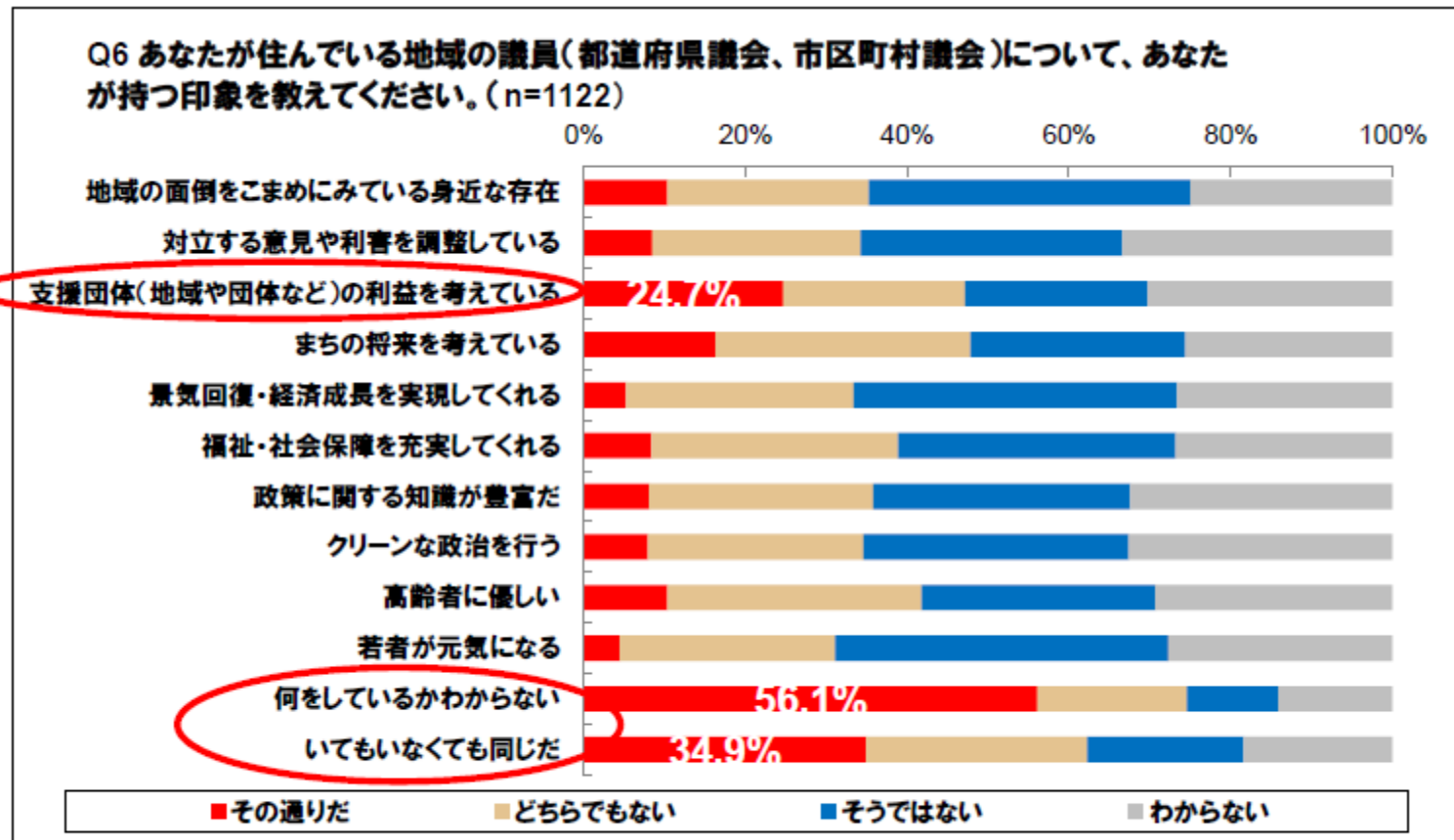


年齢別の状況



3. 住民の議会に対する「負」の意識

- 地方議会の役割・機能・活動に関する知識・情報不足
- スキャンダルや政争に由来する不信感、コスト削減要求(早大資料)



4. 議員・議会による住民との関わり方

個別接触

- ・選挙を通じた関わり
- ・議員・候補者の個別活動を通じた関わり

広報活動

- ・情報の公開(情報提供、広報等)
- ・活動の公開(議会・委員会の傍聴機会の拡充等)
- ・説明会・報告会・「出張議会」・学校教育

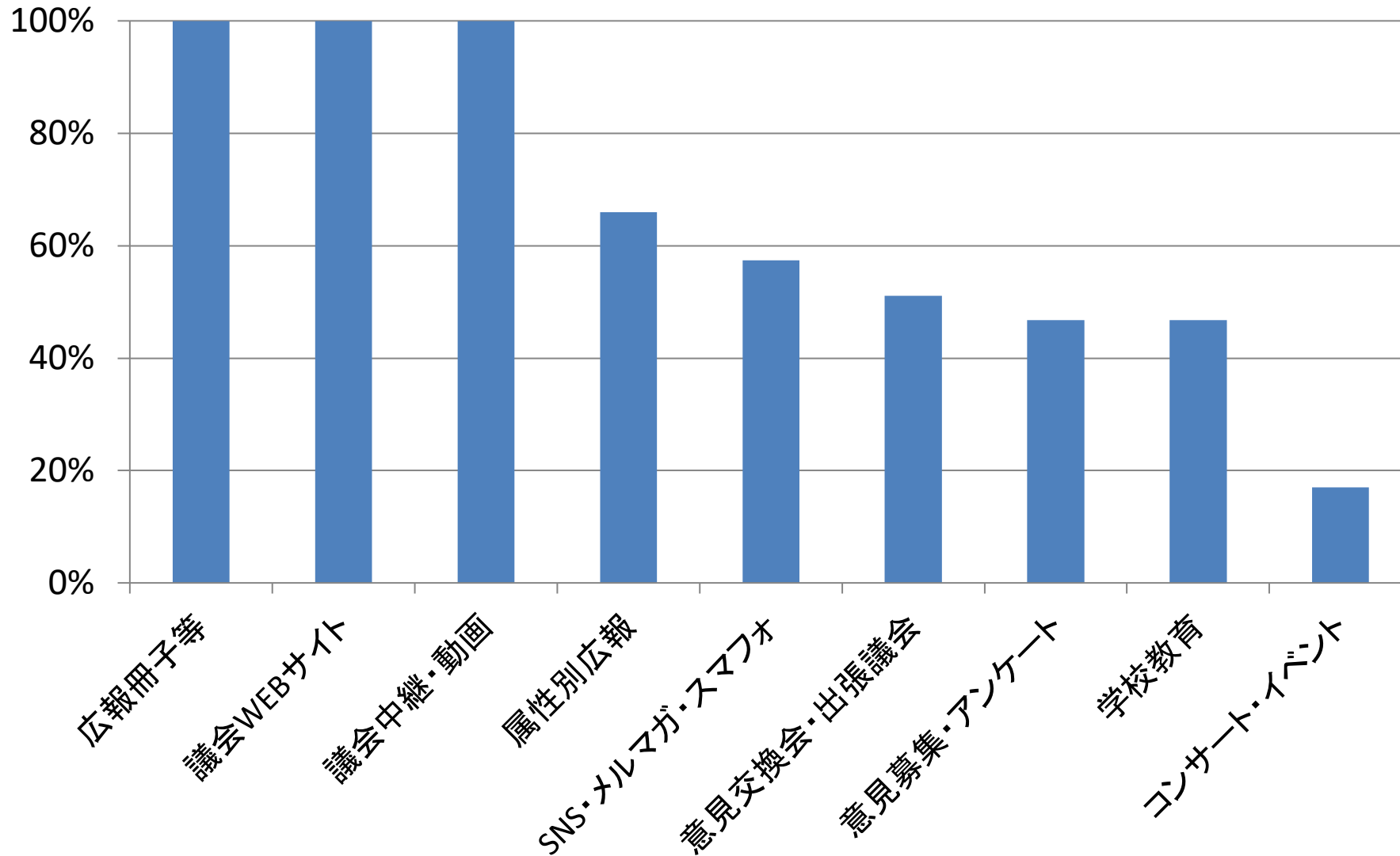
意見聴取

- ・間接的意見聴取(住民アンケート、パブリック・コメント、意見書・要望書・陳情の受付等)
- ・直接的意見聴取(公聴会、団体・代表者ヒヤリング等)

協働

- ・政策形成における協働(ワークショップ、審議会、PT化等)

● 住民に対する都道府県議会の広報および意見聴取 (平成28年都道府県議会議長会調べ 及び各議会WEBサイト参照)

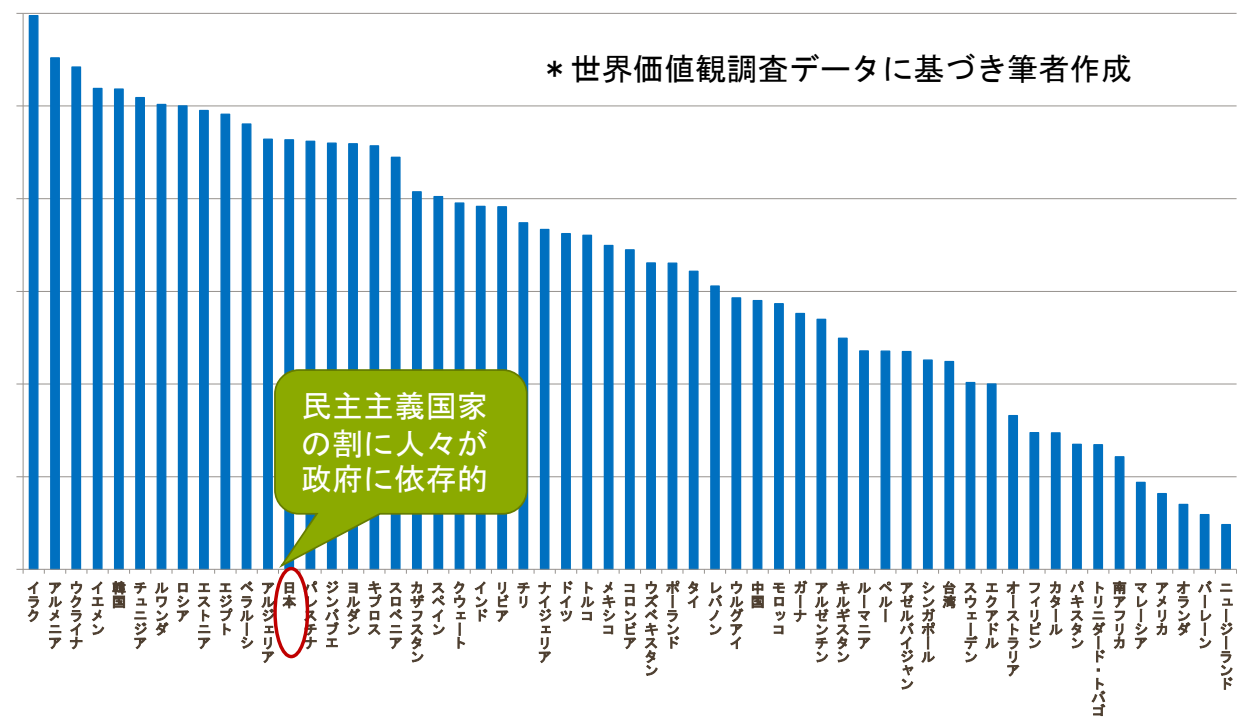
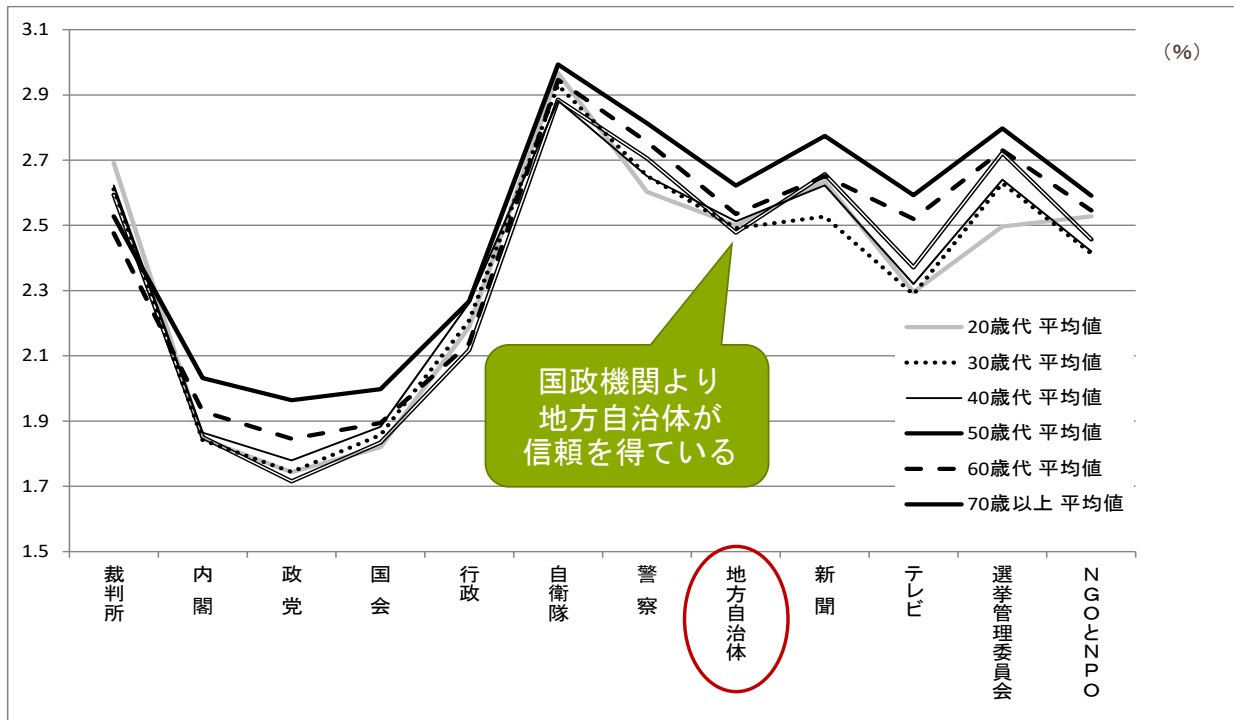


5. 住民との連携・協働関係構築の課題

- 「実施の是非」に関する疑問：住民の参加者に偏りがあり、実りある関係は構築できないのでは？ 調整の時間や手間がかかるだけでは？
個別の議員・政党にとって利益やインセンティブがない
- 「効果の大きさ」に関する疑問：広報活動やイベントは、どの程度の住民まで到達するのか？ 様々な試みを通じて、住民の関心・好感度・参加意欲は本当に高まるのか？
- 「方法の選択」に関する疑問：「横並び」の活動が多くなっている。多様な住民と連携できる新たな方法とは？ 多元的かつ新しい方法を考える？

6. 住民意識の特徴

- 国政より地方政治・地方行政に対する信頼度が高い(アジア・バロメーター)
- 政府に対する信頼は高くないが、依存心は結構ある(世界価値観調査)

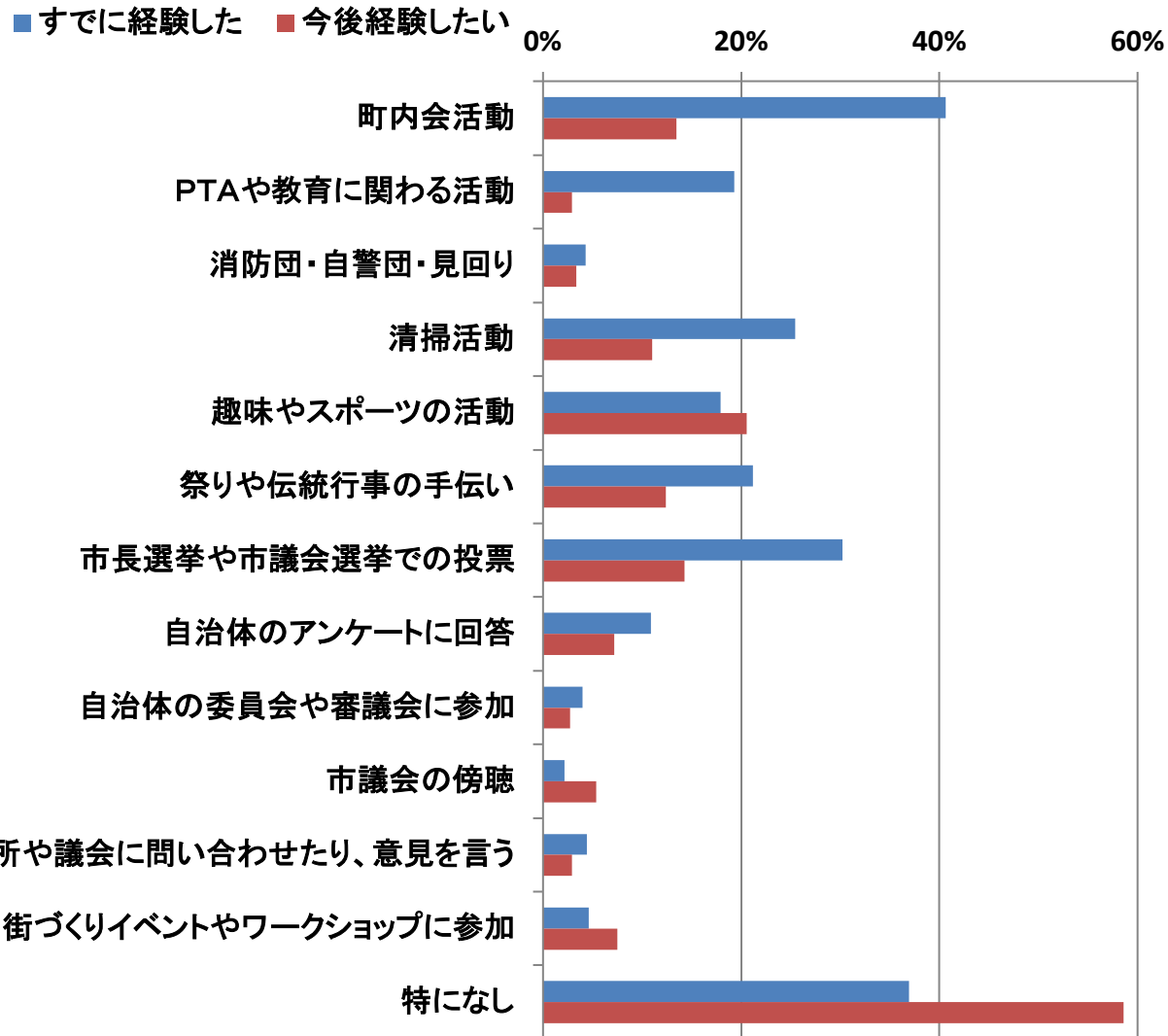


6. 住民の地域活動への意識

(埼玉県内の12市における筆者実施の調査より)

- 投票経験は約半数。議会との関わりを経験した人は数%
- 地域活動意欲は総じて低い。
- しかし議会傍聴や街づくりイベントには数%の住民が関心を寄せている。
→「地域を知り貢献できる」「次世代・子供のため」「仲間ができる」
- 女性は文化・食品・子育て・街づくり、男性はスポーツ・福祉・防災防犯に関連したイベントに興味。
→ 各層に対し、多層的な場面・方法による働きかけが必要

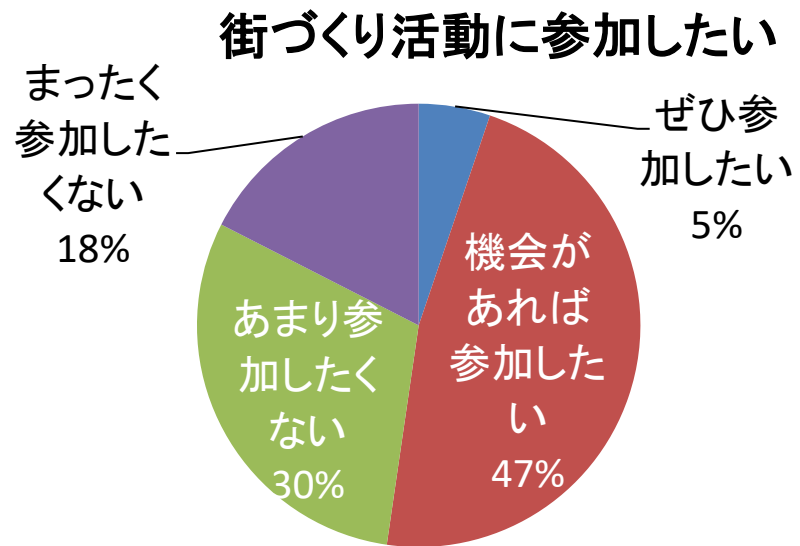
地域活動の経験・意欲



やってみたい地域活動(選択率)	町内会活動	PTAや教育に関わる活動	消防団・自警団・見回り	清掃活動	趣味やスポーツの活動	祭りや伝統行事の手伝い
20代男性	14.3%	7%	7.1%	0%	14.3%	0%
30・40代男性	9.9%	1.4%	4.9%	9.2%	16.2%	14.8%
50・60代男性	15.8%	2.6%	3.1%	11.4%	24.1%	11.8%
70代以上男性	23.0%	0%	3.3%	19.7%	37.7%	23.0%
20代女性	16.7%	0%	0%	8.3%	8%	16.7%
30・40代女性	11.6%	6.6%	3.3%	11.6%	14.9%	10.7%
50・60代女性	9.8%	3.3%	1.6%	9.8%	16.4%	4.9%
70代以上女性	0%	0%	0%	0%	15.4%	7.7%

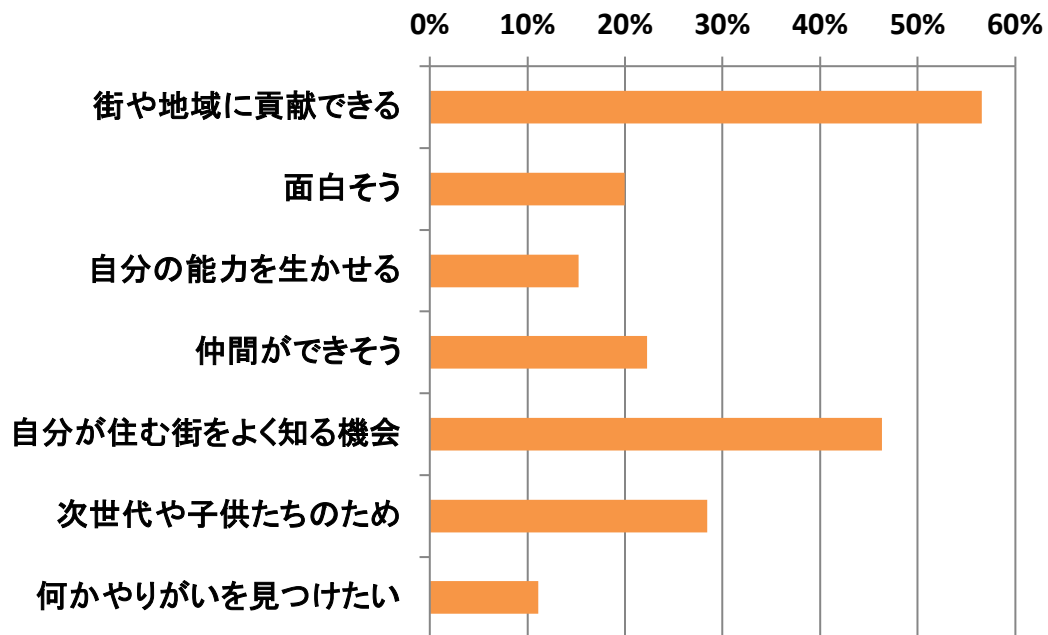
やってみたい地域活動(選択率)	市長選挙や市議会選挙で投票	自治体のアンケートに回答	自治体の委員会や審議会参加	市議会の傍聴	市の役所や議会に問い合わせたり、意見を言う	街づくりのためのイベントやワークショップ
20代男性	7.1%	0%	0%	0%	0%	0%
30・40代男性	13.4%	3.5%	1.4%	2.8%	2.8%	5.6%
50・60代男性	13.6%	6.1%	3.1%	4.4%	1.8%	6.6%
70代以上男性	29.5%	16.4%	9.8%	16.4%	8.2%	11.5%
20代女性	16.7%	8%	8.3%	0%	0%	16.7%
30・40代女性	10.7%	7.4%	1.7%	5.8%	4.1%	9.1%
50・60代女性	13.1%	11.5%	0%	4.9%	1.6%	8.2%
70代以上女性	7.7%	8%	0%	7.7%	0%	7.7%

地域活動に参加してみたい

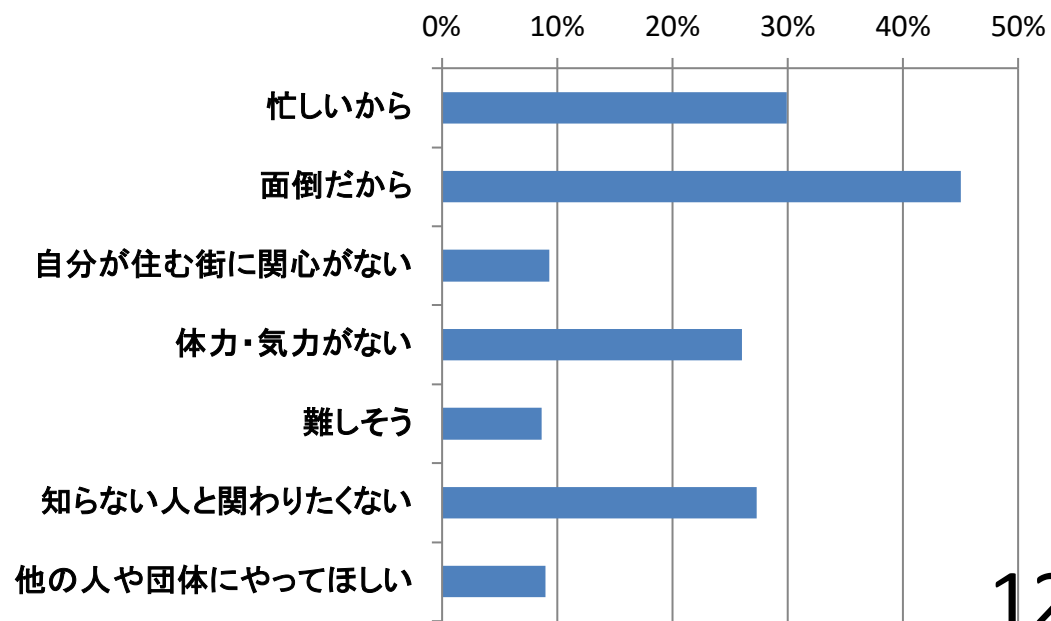


(平均点)	街づくり活動したい	ウェブサイト良い
20代男性	2.1	3.8
30・40代男性	2.4	2.6
50・60代男性	2.4	2.5
70代以上男性	2.6	2.7
20代女性	2.5	2.6
30・40代女性	2.3	2.7
50・60代女性	2.3	2.8
70代以上女性	2.3	2.4

参加したい理由(複数)



参加したくない理由(複数)



参加してみたいイベント(選択率)	音楽会・演劇・落語など	絵画・写真・書などの展示会	スポーツのイベントや教室	地域の名産品・食品の販売	健康・病気・障害などの相談	就職の相談や仕事の紹介
20代男性	14.3%	7%	42.9%	21%	0%	7.1%
30・40代男性	24.6%	7.7%	28.9%	23.2%	19.7%	7.0%
50・60代男性	31.6%	15.4%	18.9%	23.2%	21.1%	6.1%
70代以上男性	49.2%	20%	24.6%	31.1%	44.3%	6.6%
20代女性	41.7%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	8.3%
30・40代女性	40.5%	20.7%	17.4%	32.2%	17.4%	8.3%
50・60代女性	54.1%	16.4%	16.4%	39.3%	26.2%	6.6%
70代以上女性	39%	23%	23%	23%	38.5%	0%

参加してみたいイベント(選択率)	司法や行政手続きに関する相談	防災・防犯などの相談	福祉・生活・金融相談	議会の委員会や報告会	子育て・教育イベント	街づくりの相談・ワークショップ
20代男性	0%	0%	7.1%	7.1%	0%	7.1%
30・40代男性	5.6%	8.5%	8.5%	2.8%	7.7%	10.6%
50・60代男性	7.0%	14.0%	14.0%	2.6%	3.5%	12.7%
70代以上男性	6.6%	27.9%	11.5%	8.2%	1.6%	16.4%
20代女性	0%	8.3%	0%	0%	16.7%	0%
30・40代女性	5.8%	10.7%	12.4%	2.5%	22.3%	13.2%
50・60代女性	4.9%	4.9%	14.8%	1.6%	1.6%	9.8%
70代以上女性	0%	0%	8%	0%	0%	30.8%

7. 「ウィズ・コロナ」で加速するIT・オンラインの活用

● オンライン議会

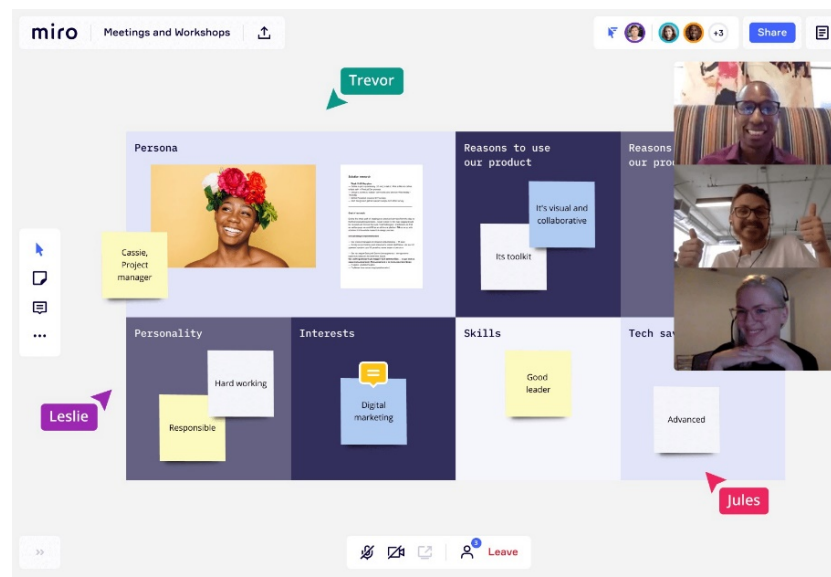
どこからでも参加可、危機対応、投票システム、住民傍聴・録画・議事録作成・UPが容易

● 住民とのコミュニケーション

議会・委員会報告会、住民意見聴取、HPやSNSで意見聴取、自動分類・解析

生徒とのワークショップ

→到達しにくかった若者や忙しい勤労者と交流可能



「オンライン議会」をめぐる国内外の取り組み



英国

下院でウェブ会議システム「Zoom」を一部導入。オンラインで質問もできる



ドイツ

下院で採決に必要な定足数を議員の過半数から25%に。在宅でのオンライン出席や電子投票も一部で認める



欧州連合

電子投票を導入。議員にメールで送られる投票用紙に賛否やサインを記し、返信して投票



日本

「3密」回避のため、本会議や委員会で採決時以外は出席議員を減らす。オンラインでの出席や投票は認めない

7. 「ウィズ・コロナ」で加速するIT・オンラインの活用

● データ化や分析

議事録や多様な文書のテキスト解析、音声解析、画像・動画解析
執行部や他の自治体の政策文書も解析し、政策立案に活用



●MEMO●

第20回都道府県議会議員研究交流大会
第4分科会テーマ「住民との関係強化」

岩手県議会による住民参加の取組 — 県民と県議会との意見交換会 —



令和2年11月11日

岩手県議会議員 川村 伸浩

県民と県議会との意見交換会の様子



県民参加の機会の充実

－岩手県議会基本条例－

岩手県議会基本条例（平成21年4月1日施行）

第2章 県民と県議会との関係

（県民意向の県政への反映）

第4条 議会は、県民の意向を的確に把握し、県政に反映させるため、説明責任を十分に果たすとともに、県民の議会活動への参加の機会を確保するよう努めなければならない。

（県民参加の機会の充実等）

第5条 議会は、次に掲げる方法により、県民参加の機会の充実を図るものとする。

- (1) 参考人制度及び公聴会の積極的活用
- (2) 議会と県民との意見交換の場の設置
- (3) 政策立案等に際しての県民からの意見の聴取
- (4) 前3号に掲げるもののほか、議長が必要と認める方法

（広聴広報活動の充実）

第7条 議会は、次に掲げる取組を積極的に推進すること等により、広聴広報活動の充実を図るものとする。

- (1) 県民の多様な意見の的確な把握
- (2) 議会活動に関する情報の多様な媒体による県民への提供
- (3) 議案等に対する議員の賛否の速やかな公表
- (4) 議員で構成する会議による広聴広報の充実強化

広聴広報会議の設置

— 県民との意見交換の場の設置に係る協議、調整 —

岩手県議会基本条例に基づき、平成21年6月26日に**広聴広報会議を設置**

● 広聴広報会議構成員（令和2年11月11日現在）各交渉団体会派から選出

希望いわて	自由民主党	いわて新政会	いわて県民クラブ
佐藤 ケイ子（副座長） 千葉 秀幸	川村 伸浩（座長） 佐々木 宣和	吉田 敬子	千葉 絢子

● 広聴広報会議運営要領

（協議又は調整を行う事項等）

第2 広聴広報会議は、議会の広聴広報に係る次の事項について協議又は調整を行うものとする。

- (1) 基本方針に関すること。
- (2) 基本計画に関すること。
- (3) 企画に関すること。
- (4) 議会と県民との意見交換の場の設置に関すること。
- (5) 実施結果の評価に関すること。
- (6) その他充実強化に関すること。

「本音で語ろう県議会」の開催

—平成21年度から25年度まで—

テーマや参加対象者は特定せず、地域において県民と気軽に
意見交換を行う場として開催

開催回数	年8回程度の開催 (前期4市町村、後期4市町村)
開催内容	決算(予算)特別委員会の審議内容を報告するとともに、県民からの議会に対する意見・提言を伺う
参加議員	決算(予算)特別委員会の委員長または副委員長、各常任委員会の委員1人及び広聴広報会議の構成員1人の計7人程度
参加者	参加を希望する県民は、事前申し込みすることなく自由に参加が可能



「本音で語ろう県議会」の課題

－平成21年度から25年度まで－

① 若者及び女性の参加促進

60歳以上の方、男性の比率が多く、若者や女性の参加が少ない。

⇒開催方法や周知方法、開催場所、時間等がこのままで良いか。

② 意見交換のテーマの設定

議員の考えを聞くというより、執行部が所管する事業に関する要望や、事業内容に関する詳細な質問が多かった。

⇒これまで、自由参加とし、意見交換のテーマも自由としてきたが、今後もこの方法を継続するのか。

⇒会場ごとに地域課題などのテーマを設定し、テーマに応じた対象者とすべきではないか。

平成25年度で県内全33市町村を一巡したことから、課題を踏まえながら、**広聴広報会議の場で検討。**

県民との意見交換の場の見直し —平成25年度—

項目	見直し前	見直し後
開催方法	<ul style="list-style-type: none"> ・議員からの報告の後に、参加者からの質問、意見等の発言を求める形式で進行 ・特定のテーマを設けず、自由に意見交換を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換を行うテーマは会場ごとに設定 ・参加者のテーマに関する取組等の発表など、参加者の発言を中心に進行
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・自由参加方式により実施 ・参加人数の制限なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換を行うテーマに関連した活動を地域で行っている者 ・発言時間を確保するため8人程度
参加議員	決算（予算）特別委員会の委員長または副委員長、各常任委員会の委員1人及び広聴広報会議の構成員1人の計7人程度	広聴広報会議の構成員を含む8人以内（令和元年度から9人以内に変更。4年間で、議員一人当たりの参加回数を3回確保）
開催回数	前期・後期各4回、年間8回	前期・後期各2回、年間4回
開催場所	市町村単位で開催	4広域圏単位で開催
開催時間	平日18時30分から20時30分	参加者に応じて個別に時間を設定

「県民と県議会との意見交換会」

—平成26年度から新たに開催—

● 意見交換会の進行

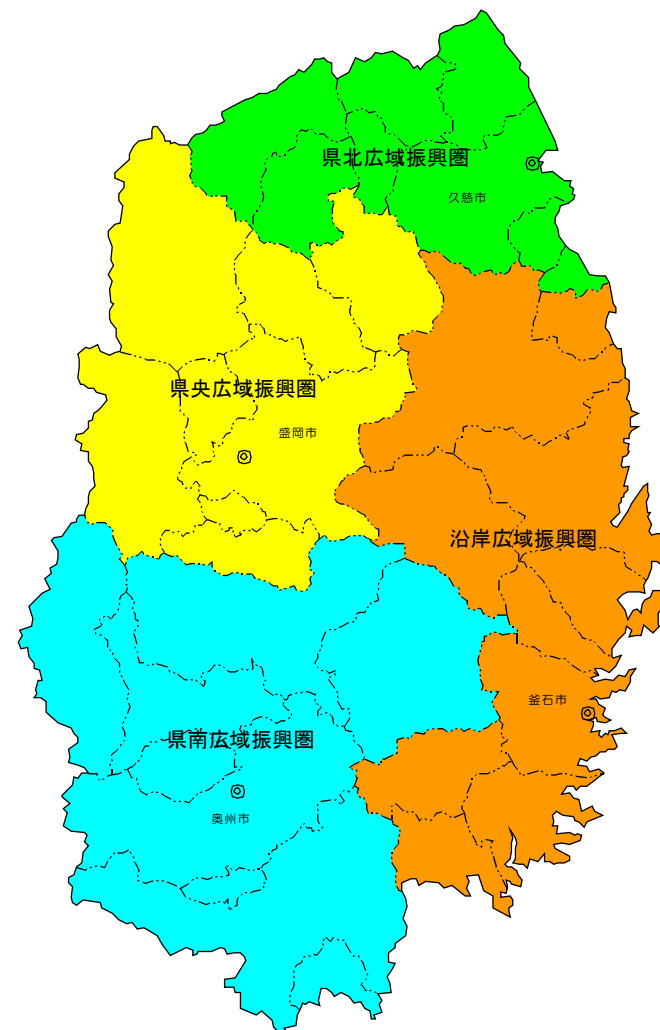
進行は、座長が行う。座長は、広聴広報会議の構成員が務める。

【次第】

- 1 開会挨拶
- 2 出席議員の紹介
- 3 県議会の取組に関する報告
(※必要に応じて実施)
- 4 参加者からの取組事例や意見の発表
- 5 意見交換
- 6 閉会

● 意見交換会の参加者

参加者は、テーマに関する活動を行っている者を県内の広域振興局等から推薦。



「県民と県議会との意見交換会」開催

－平成26年度から現在まで－

意見交換会の改善

- **平成28年度**
年4回のうち、若者との意見交換会を1回開催
- **平成29年度**
年4回のうち、若者との意見交換会を2回開催
- **平成30年度**
年4回のうち、若者との意見交換会を1回、
新たに女性との意見交換会を1回開催
- **令和元年度**
年4回のうち、若者との意見交換会を1回、
女性との意見交換会を1回開催
(※若者との意見交換会は、大学生が議場見学、
本会議の傍聴後に開催)



県民と県議会との意見交換会

—過去3年間の開催状況—

年度	会場	テーマ	参加対象者
H29	県央（盛岡市）	若者がやりがいを持って働くことのできる雇用環境の整備について	【若者】林業、製造業、小売業、サービス業に従事する若年勤労者
	県北（久慈市）	安心して子供を産み育てることができる環境整備について	病院関係者、社会福祉協議会、行政関係者
	県南（一関市）	次代を担うものづくり人材の育成と地域の活性化について	【若者】工業高等専門学校の学生
	沿岸（陸前高田市）	被災地における新たな地域コミュニティづくりについて	自治会、NPO等関係団、行政関係者など
H30	県北（二戸市）	地域の特性を生かした産業振興について	地場産業の次代の担い手など
	県南（奥州市）	国際リニアコライダーの実現に向けた取組について	識者、学生、関係団体など
	沿岸（釜石市）	地元の資源を生かした三陸地域の振興について	【若者】大学生
	県央（八幡平市）	妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援について	【女性】妊娠又は子育て中の女性
R1	県北（一戸町）	縄文遺跡群をはじめとする県北地域の文化振興について	文化振興の関係者など
	沿岸（宮古市）	新たな交通ネットワークや大型イベントを活用した地域振興について	交通や観光振興の関係者など
	県央（盛岡市）	若者の県内就職と就職後の展望について	【若者】大学生
	県南（北上市）	女性の視点を生かした産業振興及び女性活躍支援について	【女性】様々な産業等で活躍する女性

県民と県議会との意見交換会

—寄せられた意見・提言の取り扱い—

意見交換会の開催結果について

- 寄せられた意見・提言は、広聴広報会議において整理し、速やかに議長に報告するとともに、**全議員に配付し情報共有の上、今後の議会活動に生かすものとする。**
- また、**議会のホームページ等に掲載するものとする。**

173 令和元年 12月定例会

みんなで話し合おう 岩手のいま、そして未来

県民と県議会との意見交換会を開催 盛岡会場

県議会では定期的に県民との意見交換会を行っています。令和元年定例会期は12月4日に盛岡市、12月13日に北上市で開催しました。

盛岡会場では県内の大学生7人が参加し、「若者の県内就職と就職後の展望」をテーマに意見交換しました。地元への就職の希望や、県内企業に持つイメージなどについて率直な意見が出されました。

北上会場ではさまざまな分野で活躍する女性9人が参加し、「女性の視点を生かした産業振興及び女性活躍支援」をテーマに、子育て支援など女性が活躍できる環境づくりや、女性が参加しやすい地域活動などについて話し合われました。

※詳しい内容は2月中旬に県議会ホームページに掲載します。

北上空場

県民と県議会との意見交換会

参加者の感想

佐藤 隆介さん (盛岡会場 岩手大学人文社会科学部)
今日は明るく話しやすい雰囲気なので、たくさん話ができました。県議会が就職先だけでなく、自分の将来に関する話も聞くことができて視野が広がりました。議員の皆さんからは、積極的に若手を育てていくという姿勢が伝わってきました。

松田 隆美さん (北上会場 岩手県立大学(盛岡校))
今日は会談と思えば男性中心で女性たちの参加は少なかった。自分も企業に就職しているのでも、今日はとても勉強でした。自分もそれぞれの意見を出して、自分自身でも地域が抱える課題に共感するものもあり、私も頑張ろうと思います。

岩手県議会広報紙「いわて県議会だより」

令和元年度 意見交換会(後期)の開催結果

「県民と県議会との意見交換会」を開催しました

令和元年12月4日に盛岡市、12月13日に北上市を会場に、「県民と県議会との意見交換会」を開催しました。この意見交換会は、県民の議会活動への参加機会の充実を図ることを目的に、年に4回程度開催しており、会場ごとにテーマを設定し、関連する業種に従事している方や関係団体の方々と意見交換を実施しています。盛岡会場では、「若者の県内就職と就職後の展望について」をテーマに、学生から見た県内就職の現状や課題等について、また、北上会場では、「女性の視点を生かした産業振興及び女性活躍支援について」をテーマに、様々な産業分野で活躍している女性から見た仕事や育児の現状や課題等について、それぞれ意見が交わされました。

参加者からいただいた御意見については、議員全員で共有し、今後の議会活動に生かしていくこととしています。

■ 意見交換会の概要

- 盛岡会場
- 北上会場



—PDFを見るためには、Adobe Readerが必要です。こちらからダウンロードしてください。



盛岡会場の様子



北上会場の様子



岩手県議会HP

●MEMO●



1

住民との関係強化

都道府県議会議員研究交流大会

富山県議会

富山県の概要

○面積

4,247.59平方メートル

(東西約90km、南北約76km)

○総人口 (令和2年9月1日現在)

1,035,317人

○県庁所在地 富山市

○市町村数

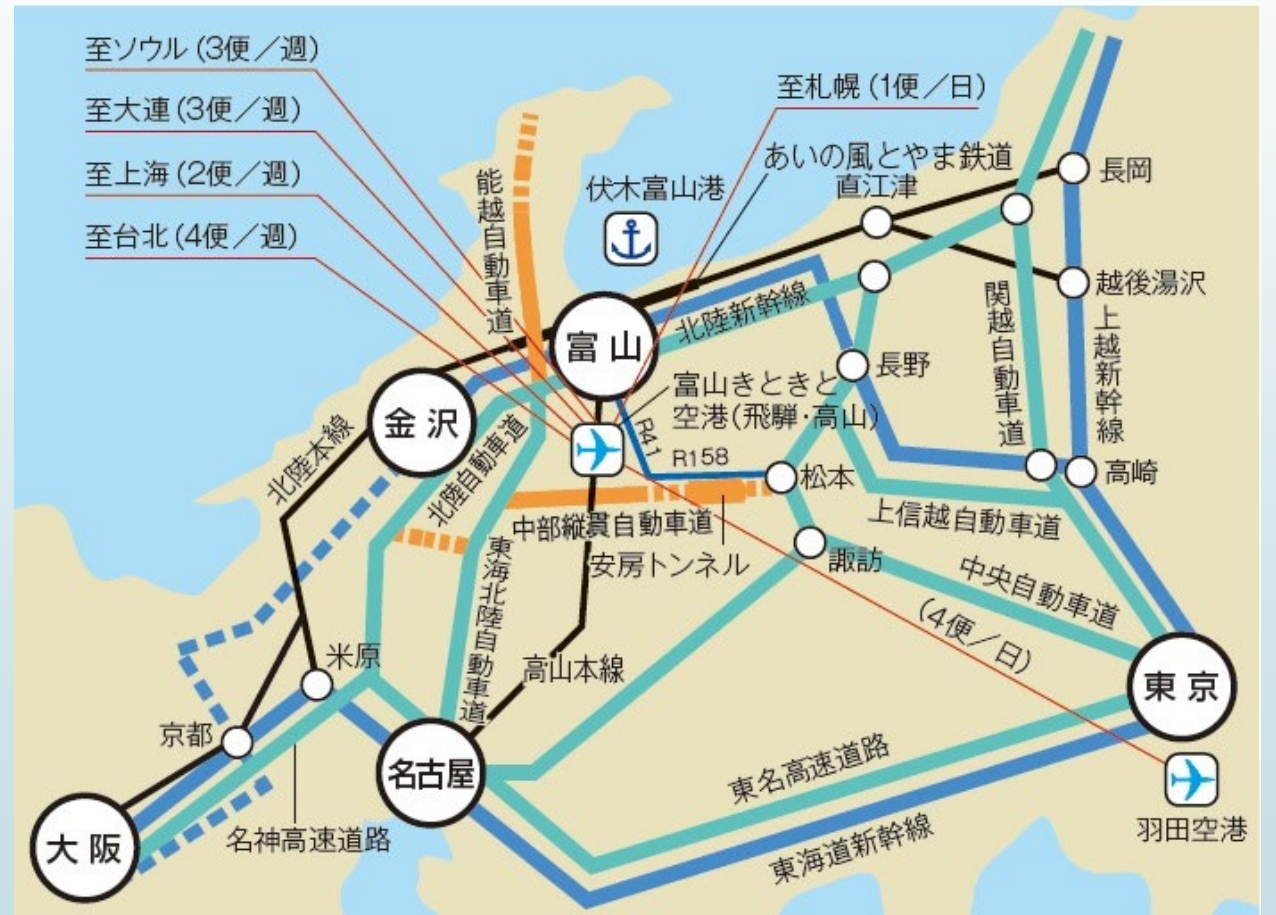
15 (10市4町1村)

○県一般会計当初予算額

約5,712億円 (令和2年度)

○県議会議員数 40人

○交通アクセス (北陸新幹線で富山・東京間最速2時間8分)



富山県議会の議会改革の取組

1 富山県議会基本条例の制定（平成30年3月）

第14条 議会改革推進会議の設置

第20条 広報及び広聴の充実 → 議会活動周知、県民の意思の県政への反映

第21条 県民参加 → 県民の主権者意識の醸成

2 富山県議会改革推進会議（H30.6～、年5回程度開催）

毎年度「議会改革に関する行動計画」を策定 → 進捗状況を確認、公表

今年度は、①県議会広報紙の充実

②常任委員会のインターネット録画配信

③県議会ホームページのリニューアル

④議会報告会のあり方

⑤ITの活用

などについて検討を進めている。

富山県議会の住民との関係強化に係る取組

- 1 委員会の県内視察と意見交換
- 2 常任委員会の県内視察
- 3 県議会議員の出前講座
- 4 高校生の議会傍聴と県議会議員との意見交換
- 5 高校生とやま県議会

※今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため
県内視察、意見交換等を延期（又は中止）しているため、
昨年度の状況を紹介します。

産業振興特別委員会の 県内行政視察と意見交換（1/4）

- 1 日 時 令和元年12月16日（月）
- 2 場 所 ウッドリンク株式会社 ウッドリンク・ラボ
- 3 参加者 産業振興特別委員12名、地元議員3名
ウッドリンク(株)社員、県西部商工会議所及び
商工会からの推薦企業の採用担当者等18名
- 4 内 容
 - （1）視察先企業の実践発表
 - （2）質疑応答・意見交換
 - （3）議会報告会（試行）

産業特別委員会の 県内行政視察と意見交換（2/4）

（1）視察先企業の取組発表

<働き方改革の取組紹介>

- ① 長時間労働の削減／年次有給休暇の取得促進
- ② 柔軟な働き方の導入
- ③ 健康経営の推進
- ④ 人材育成の取組み
新入社員1名につき専属の先輩社員が教育係となり
マンツーマンで実務のアドバイスや職場生活上の相談役と
なるエルダー制度を導入
- ⑤ 社員満足度向上のための取組み

産業特別委員会の 県内行政視察と意見交換（3/4）

（2）質疑応答・意見交換

① 人手不足の現状について

- ・ 都会から地方へ人材が流入する施策を！
- ・ 求人に対し応募者が集まらない、採用できてもすぐ辞める
- ・ 技能実習生として外国人労働者を採用しているが、資格等が必要な仕事は難しい

→ 外国人労働者のための初期日本語教室の開催、来日前の現地での日本語研修
ワンストップ相談センターの開設、ホームページの多言語化対応

② 人手不足への対策として取り組んだことの成果

- ・ インターンシップや社長との懇談会による丁寧な採用活動
- ・ 業界団体による奨学金制度により学生の就職支援
- ・ 就職待機者による企業体験の実施を参考に、ニート・ひきこもりの就職支援の検討

→ 働くすべての人をささえる人材活躍推進センターの創設

産業特別委員会の 県内行政視察と意見交換（4/4）

- (3) 議会報告会（試行）
 - ① 議会報告会試行の概要
 - ② 令和元年11月定例会の概要
 - ③ 令和元年11月定例会における
主な議論の概要
 - ④ 産業振興特別委員会所管事項に
関する主な議論の概要



常任委員会の県内視察（1/3）

1 教育警務委員会

(1) 日 時 令和2年2月21日（金）

(2) 参加者 教育警務委員8名、地元議員、執行部職員

(3) 調査先

① NPO法人 はあとぴあ21

② 富山県警察航空隊

(4) テーマ

① 不登校の子供への支援等について

② 山岳遭難救助隊制について

常任委員会の県内視察（2/3）

（5）内 容

- ① 不登校の児童生徒の支援の現状について聴取
施設内見学等調査
- ② 県警ヘリ「つるぎ」や山岳遭難救助体制について聴取
県警ヘリに試乗し、上空から新警察署建設地の確認

（6）政策への反映等

- ① 不登校児童生徒対策事業
- ② 組織機構の見直し（地域課から山岳安全課へ）、
山岳警備隊ツイッター開設

常任委員会の県内視察（3/3）

2 厚生環境委員会

- (1) 日 時 令和2年2月25日（火）
- (2) 参加者 厚生環境委員8名、地元議員、執行部職員
- (3) 調査先 富山児童相談所
- (4) テーマ 児童相談所の現状と課題について
- (5) 内 容 施設の概要聴取、状況視察、
問題点等について意見交換
- (6) 政策への反映等
高岡児童相談所の移転改築（相談機能、一時保護機能の充実）

県議会議員の出前講座

- 1 日 時 令和元年9月5日（木）
- 2 場 所 学校法人和楽学園 美容専門学校
富山ビューティーカレッジ
- 3 参加者 県議会議員（講師）4名
専門学校1年生26名、教員4名
- 4 内 容
 - （1）議員、学生紹介
 - （2）県議会の機能と役割
 - （3）議員とのグループディスカッション
（4グループ）
 - （4）グループディスカッションの結果発表



高校生の議会傍聴と 県議会議員との意見交換（1/2）

- 1 日 時 令和元年9月12日（木）
- 2 参加者 県議会議員6名（議長外5名）
高校生40名（県内高校等の生徒会代表(2年生)）
教育委員会教育長外、事務局職員及び引率教諭
- 3 会 場 議事堂委員会室
- 4 内 容
 - （1）県議会傍聴（意見交換参加議員の質問及び執行部答弁）
 - （2）意見交換（次ページ）

高校生の議会傍聴と 県議会議員との意見交換（2/2）

（2）意見交換

- ① 議長挨拶、出席議員紹介
- ② 生徒から議会傍聴の感想発表
- ③ 質疑
 - ・ 議員を志した理由
 - ・ 女性議員を増やすことや、それによる社会への影響
 - ・ 県民の声を聞く上で、どのように交流しているか
 - ・ 防災対策や県勢発展などの進め方
- ④ 意見交換
 - ・ 議員の男女比のバランス



高校生とやま県議会（1/4）

- 1 趣 旨 高校生の主体的な政治参加意識や地域社会へ参画する意識の向上を図る
- 2 日 時 令和元年8月6日（火）～12月16日（月）
- 3 参加者 県内高等学校等の生徒会代表40名（2年生）
- 4 進め方 テーマごとに5つの委員会に分かれて意見交換を行い、本会議に向けて「元気とやまの創造」について提言をまとめる。
- 5 協議分野
 - （1）産業・観光の振興
 - （2）少子化対策・子育て支援、
 - （3）教育の充実・文化・スポーツの振興、
 - （4）医療福祉の充実、
 - （5）安心・安全な県づくり

高校生とやま県議会 (2/4)

6 内 容

(1) 第1回委員会活動 (令和元年8月6日 (火))

- ・開会式
- ・オリエンテーション
- ・講演会「政治を使いこなすための、初めの一步」外部講師
- ・委員会活動

(2) 第2回委員会活動 (令和元年8月19日 (月))

- ・委員会活動
- ・関係各室課との懇談

高校生とやま県議会 (3/4)

(3) 第3回委員会活動 (令和元年9月12日 (木))

- ・ 委員会活動
- ・ 議会傍聴 (代表質問)
- ・ 知事との意見交換
- ・ 県議会議員との意見交換

(4) 本会議 (令和元年12月16日 (月))

- ・ 各委員会からの提案発表、質疑応答
- ・ 委員長報告
- ・ 知事講評



高校生とやま県議会（4/4）

（5）高校生による提案

- ① 県民によるSNSを使った富山の魅力発信
- ② 男性の家事・育児参加と子育て支援アプリの開発
- ③ 伝統工芸を広める、文化の種まき
- ④ 介護福祉の魅力向上
- ⑤ ユニバーサルな災害対策

詳細はHP http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/3009/kj00020996.html